

1. 題材設定の理由

6年生も2学期後半になると、行事の一つ一つが小学校生活最後の行事であるという自覚をもち始める。それと同時に、これまでの小学校生活を振り返り、共に過ごしてきた友だちのことや様々な活動の中で楽しかったこと、苦しかったこと、うれしかったことなどを懐かしい思い出として、何らかの形で残しておきたいという気持ちになる。

こうした気持ちを大事にしながら、小学校生活のまとめの一つとして自分たちの力でアイデアを出し合って文集づくりに取り組ませたい。また、計画から完成までの見通しをもって取り組ませたい。

2. 指導のねらい

自分の成長や決意を記録する文集を、アイデアを出し合っけて作り上げる計画を立てることができる。

3. 指導計画（全1時間）

本時	<ul style="list-style-type: none"> どのような卒業文集にするか、願いを出し合う。 文集の形式について話し合う。 文集の内容について話し合う。 卒業文集完成までの大まかな見通しをもつ。
事後	<ul style="list-style-type: none"> 本時の計画に沿って進められるよう、係ごとに点検しながら協力して作業をする。 完成したあかつきには、思い出に浸りながら文集をじっくり読む時間を設ける。

	活動のねらい	活動の内容	指導・援助の留意点	資料等
はじめの活動	<ul style="list-style-type: none"> 卒業文集をつくる意義を確かめ合い、文集づくりに意欲をもつことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎開会の言葉 ◎議題「卒業文集をつくる相談をしよう」を提案する。 <ul style="list-style-type: none"> 提案理由の説明 ◎話し合いの進め方を提示する。 	<ul style="list-style-type: none"> 事前に計画委員会を開き、文集をつくる意義や学級会の進め方について話し合っておき、提案できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 過去の卒業生の文集 学級会ノート
課題：卒業文集をつくる相談をしよう。				
中心的な活動	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人の考えや希望を生かして、文集の形式や内容について話し合い、決めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎どのような卒業文集にするか、願いを出し合う。 <ul style="list-style-type: none"> 6年間の思い出がいっぱいつまったものに 卒業してからも楽しく読めるものに 友だちのことがよくわかるものに ◎どのような形式にするか話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> 大きさや形 書き方 その他 ◎どのような内容にするか話し合う。 <p><内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 学校行事に関するもの 委員会活動やクラブ活動に関するもの 個人のプロフィール 6年間の歩み 作文・詩・俳句・日記など 10年後のわたし もし〇〇があったら 6年生の思い出 友だちへの一言 <p><だれが書くか></p> <p><1人分の字数やページ数></p> <p><のせる順序></p> 	<ul style="list-style-type: none"> 「自分もつくってみたい」、「完成が楽しみだ」など、関心や意欲を高めていくための話し合いにする。 過去の卒業文集も参考にしながら相談させる。 全体のページ数との関係で考えさせる。 子どもの創意を生かす。 書きたいものを個人カードやグループカードに書かせ黒板に掲示する。 	<ul style="list-style-type: none"> ノート① 過去の卒業生の文集 学級会ノート ノート② ノート③ 背面掲示物「6年生の歩み」 作文ファイル 健康手帳 日記帳 読書ファイル
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> 文集の完成までの大まかな見通しをもつことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎話し合いで決まったことを確かめる。 ◎文集完成までの大まかな見通しをもつ。 <ul style="list-style-type: none"> だれが何を書くか決める → 必要な係を決める → 原稿を仕上げる → 印刷する → 製本する → 完成 ◎今日の学級会の反省をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 時間内に決まらなかったことについては、計画委員会や次回の学級会で話し合うこととする。 各作業ごとの期限を大まかに決めておき見直しをもって取り組めるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 学級会ノート ノート(下段)
事後	<ul style="list-style-type: none"> 係ごとに点検したり協力したりして、文集を完成させることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎必要に応じて計画委員会や学級会を開き、未決事項について話し合いをもつ。 ◎原稿執筆、印刷、製本作業を進め、完成にこぎ着ける。 	<ul style="list-style-type: none"> 話し合いや作業の時間を確保する。 	<ul style="list-style-type: none"> 学級会ノート ノート(下段)